

2022 年 8 月 31 日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

1 内政

（１）米州人権委員会報告書第 4. B 章へのグアテマラの追加

2 日に公開された米州人権委員会（IACHR）の 2021 年次報告書において、グアテマラが新たに「特別な注意を要する人権状況と脅威を指摘するための項目」に追加された。同項目には、2020 年からキューバ、ベネズエラ、ニカラグアが既に含まれている。

グアテマラ政府は数カ月前から、同項目にグアテマラが含まれることを把握し、3 月にブカロ外相は米州機構に対し「同報告書は現実に即していない」と訴えた。

（２）サン・マルコス県での非常事態宣言の発令

8 日、サン・マルコス県のイシュチグアン市及びタフムルコ市の住民間の土地所有問題を巡る争いにより、グアテマラ政府は両市に対し 30 日間の非常事態宣言 (Estado de Sitio) を発令した。同地域では土地所有を巡った住民間の衝突が約 90 年間続いている。銃器を用いた衝突へ発展しており、5 月には 4 人が死亡、2 人が負傷する衝突が発生した。

（３）ロシア・ウクライナ紛争の影響による国家緊急計画の発表

16 日、グアテマラ政府は「ロシア・ウクライナ紛争 国家緊急計画」を発表した。同計画は、ロシアとウクライナの紛争から生じる経済的影響を緩和することを目的とし、生活必需品の中でも特に穀物不足の防止、国民の中でも特に脆弱な人々への影響緩和のための政策から構成された。総予算は約 67.4 億ケツアル（8.7 億米ドル）で、財源として 2021 年の未執行予算、米州開発銀行からの融資 4 億米ドル及び国際復興開発銀行からの融資 1.9 億米ドルが含まれた。

（４）全国的な降雨被害による災害事態宣言の発出

22 日、グアテマラ政府は全国的な降雨被害の発生を受け、全国に災害事態宣言（30 日間）を発出した。国会は災害事態宣言の承認に加え、緊急予算 10 億ケツアル（1.3 千万米ドル）を計上した。同予算には、執行されなかったコロナ・ワクチン購入費用 6 億ケツアル及び通信インフラ住宅省の追加予算から 4 億ケツアルが充てられた。

（５）不法移民の増加

米政府の発表によると 2021 年 10 月から今年 5 月までの間に米・メキシコ国境で拘束されたグアテマラ人は 15.5 万人であり、昨年より 1 万人増加した。メキシコ移民庁によると、メキシコからグアテマラに送還された不法移民数は昨年比で 28% 増加した。

2 内政（新型コロナウイルス関連）

（１）グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、6月上旬の新規感染者数は約1,000～1,500件／日で推移したが、下旬には約4,500～5,000件／日と増加した。感染者数の増加に伴い、保健省は16日に感染症警告を発出し国民に予防措置行動の維持を呼びかけた。また、27日、コマ保健大臣は第5波にあり、数日以内にピークを迎えるだろうと発表した。なお、6月1日から24日までの新規感染者数（3.4万人）は5月中（1.5万人）の新規感染者数の2倍以上を記録した。また、病床使用率は、5月末時点で2.6%であったが7%まで増加した。なお、国民のワクチン2回接種率は42.8%であるが、先住民の接種割合は23.2%と低い。

（２）「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
5月30日～6月12日	5市	99市	233市	3市
6月13日～26日	2市	120市	217市	1市
6月27日～7月10日	10市	203市	127市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP（https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html）を参照。

（３）ワクチンの到着

ア 1日、COVAXファシリティを通じ、スペインから供与されたファイザー349,830回分が到着した。

イ 27日、COVAXファシリティを通じ、スペインから供与されたファイザー349,830回分が到着した

（４）コロナ・ワクチンの交互相種

17日、保健省は、国家ワクチン接種計画を改正し、12歳以上に対し2回目のコロナ・ワクチンのクロス接種を認めると発表した。

3 外交

（１）グアテマラ・米両政府によるUSAIDの活動継続に関する共同声明

3日、グアテマラ政府と米政府は、USAIDが引き続き当国内で活動を行うことに関するプレスリリースを共同で発出した。

同共同声明は、ジャマティ大統領がUSAIDの追放を検討していると報道したヘリテージ財団の記事の発表後に行われた。米大使館は同声明に加え、2020年以降、USAIDは3,500万米ドルの海外直接投資をグアテマラへ誘致する支援を行い、850万回分のワクチンを供与し、青少年及び女性281万人が受益者となったプログラムを実施した、と発表した。

（２）ベリーズとの国境問題

６日、ベリーズ政府はグアテマラとの国境問題に関連し、国際司法裁判所(ICJ)へ、グアテマラの主張に対する書面を提出した。グアテマラは１２月までに同書面に対する反対書面を提出する必要がある。

（３）ブカロ外相の米州首脳会議参加

ブカロ外相及びロサレス経済大臣は７日からロサンゼルスで開催された米州首脳会議に参加した。また、パラグアイ、コロンビア、セントルシア、バルバドスの外相らと二国間会談を行った他、アルマグロ米州機構事務総長、マヨルカス米国土安全保障長官と会談を行った。

（４）ハリス米副大統領による中米北部三カ国への海外投資増額の発表

７日、米州首脳会議開催中に行われた会議でハリス米副大統領は、中米北部三カ国への民間投資を１９億米ドル追加すると発表した。本事業は中米からの不法移民発生の根本要因へ働きかけるための「Call to Action」プログラムの一環であり、６月１日に公表された矢崎総業による当国への投資（以下４（１））も同プログラムを通じて実施された。

（５）ジャマティ大統領とゼレンスキー・ウクライナ大統領の電話会談

１３日、ジャマティ大統領とゼレンスキー・ウクライナ大統領が電話会談を行った。ジャマティ大統領は、ウクライナでの被害を自分たちの目で確認し、世界に伝えたいと思っている、９月に国連で同テーマについて報告したい、と言及した。加えて、グアテマラによるウクライナ人（避難民）の受け入れ及び支援を表明し、両国間のビザの撤廃を要請した。ゼレンスキー・ウクライナ大統領は、ジャマティ政権による支援への感謝を表明した。

（６）ジャマティ大統領のワシントン訪問

ジャマティ大統領は２７日から３日間、地域の安全保障問題及び不法移民について米国当局と話し合うため、米国ワシントンを訪問した。マヨルカス米国土安全保障長官と会談を行い、不法移民、国境を越えた犯罪との闘い、気候変動などについて話し合ったほか、アルマグロ米州機構事務総長と会談を行い、グアテマラの人権、安全保障、開発の前進について話し合った。また、宗教の自由世界サミット2022へ参加し演説を行った。

4 経済

（１）矢崎総業によるグアテマラへの新規投資発表

１日、国家文化宮殿において経済省主催の「投資ワンストップ（一元化）窓口」のオープニング・セレモニーが開催され、同時に、矢崎総業によるグアテマラへの新規投資が発表された。ジャマティ大統領立ち会いの下、ロサレス経済大臣と矢崎総業（藤澤矢崎北米 CEO）が覚書き（MOU）への署名を行った。矢崎総業は今回、グアテマラへ初進出し、第１フェ

ーズとして約1千万米ドルの投資（電子ワイヤーハーネス生産工場の建設）を発表した。矢崎総業による最終的な対グアテマラ投資（約5年間）として総額約1億5千万米ドルが計画されており、サン・マルコス県に続きレタルレウ県にも生産工場を建設予定。

（２）2022年第1四半期の輸出入額

グアテマラ中央銀行によると、2022年第1四半期の輸出額は前年同期比で24.2%増加し、53.8億米ドルであった。主要品目は、衣料品：6億米ドル、コーヒー：3.5億米ドル、砂糖：3.5億米ドル、食用油脂：3.3億米ドル、バナナ：3.2億米ドル。これら主要5品目で輸出全体の38.6%を占める。

コーヒーの輸出額は昨年同期比で63%増加。コロンビアやブラジルでの不作が影響した。また、食用油脂（80%がパーム油）も75.2%増加した。ウクライナとロシアの戦争が関係しており、ウクライナはひまわり油の主要輸出国であったため、ひまわり油の代替商品として食用油脂の需要が高まった結果、輸出量が増加した。

輸入額は前年度比で36%増加し、104億米ドルであった。特に増加が観察された品目は、産業用の原材料及び中間製品：10.3億米ドル（46.7%増）、燃料・機械油：7.5億米ドル。

（３）2022年第1四半期の海外家族送金額

グアテマラ中央銀行は、2022年第1四半期の海外家族送金額が昨年同期比で25.5%増加し、39億米ドルであったと発表した。なお、概算で毎日約4,400万米ドルがグアテマラへ送金された。

（４）2022年第1四半期の海外直接投資

ロサレス経済大臣は、2022年第1四半期の当国への海外直接投資額が6.2億米ドルに達し、2022年の予想目標額15億米ドルを上回る可能性があると発表した。

（５）金利引き上げ調整

5月のインフレ率は5.8%を記録し今年末に予想される上限に達したため、29日、グアテマラ金融委員会は政策金利の0.25%の引上げ調整を行った。基準金利は5月時点で2%であったが、6月は2.25%に上昇した。レシーノス中銀総裁は、輸入インフラが主な要因と指摘した。

（６）観光競争力指数の低下

世界経済フォーラム（WEF）が発表した観光競争力指数でグアテマラは117カ国中97位。グアテマラの合計ポイントは9年連続で下がっている（2021年は7ポイント中3.3ポイント）。特にインフラ及び需要促進因子の指数が低い結果となった。

◇主要経済指標◇	2022 年			2021 年	2020 年
	6 月	5 月	4 月		
インフレ率（前年同月比）	7.55%	5.82%	4.62%	4.28%	3.21%
貿易収支（百万ドル）	△1,394	△1,402	△1,378	△12,987	△6,692.3
輸出（百万ドル）	1,448.0	1,406.7	1,322.8	13,620.7	11,514.2
輸入（百万ドル）	2,842.8	2,809.4	2,700.9	26,607.8	18,206.5
外貨準備高（百万ドル）	19,875.6	20,986.7	20,843.7	20,939.6	18,468.2
外国からの送金（百万ドル）	1,666.2	1,592.5	1,516.1	15,295.7	11,340.4
為替レート（対ドル月平均）	7.76	7.68	7.67	7.73	7.72

（出典：中銀、国立統計院）